

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目的	土木・造園に関する基礎的な知識と応用力、コミュニケーション能力、土木・造園施工管理技士や造園技能士などの資格取得能力の育成を目標とし、ものづくりの魅力とやりがいを追求できるような実習を通じて実践的な技術を身につけ、地域社会や地域環境に貢献できる人材を育成する。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
工業	工科技術専門課程		土木・造園科		平成25年文部科学大臣告示号外第17号		-
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2220	990	0	1230	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		117人		3人	14人	17人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏季: 8月3日～9月4日 ■冬季: 12月23日～1月6日 ■学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 アジア航測株式会社 株式会社岩城 植彌加藤造園株式会社 大林道路株式会社 鹿島道路株式会社 株式会社熊谷組 京王建設株式会社 東急建設株式会社 株式会社NIPPO ■就職率※1 : 92.2 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 89.4 % ■その他 成 26 年度卒業者に関す 平成27年5月1日 時点の情報			主な資格・検定等	一・二級土木施工管理技士 一・二級造園施工管理技士 一・二級建築施工管理技士 一・二級管工事施工管理技士 二・三級造園技能士		

中途退学の現状	■中途退学者 5 名		■中退率 3.6 %	
	平成26年4月1日	在学者 140 名	(平成26年4月1日	入学者を含む)
	平成27年3月31日	在学者 135 名	(平成27年3月31日	卒業者を含む)
	■中途退学の主な理由			
	進路変更・就職、学業の不振			
	■中退防止のための取組			
	担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。			
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/			

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業が必要な人材を育成するために、企業へのヒアリングを随時行い、土木・造園分野の実務に関する知識や技術を調査し、授業科目の改善や内容の工夫を行う。更に、授業科目のシラバスを基に科目担当教員と企業講師の間で意見交換を行い、授業内容や評価方法を定める。現在の建設業界に必要なスキルを身につけられるよう、常に授業内容や方法を検証することにより、実践的かつ専門的な職業教育を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
岡本 賢	一般社団法人 日本建築美術工芸協会 会長
松浦 弦三郎	松浦技術士事務所 代表
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長
上田 耕作	日本工学院八王子専門学校 科長
内田 寿明	日本工学院八王子専門学校 主任
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部課長

(開催日時)

第1回 平成27年3月27日 10:00～12:00

第2回 平成27年9月1日 10:00～12:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

建設業界の中の土木・造園の分野に関する実践的な実習・演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。企業等との打ち合わせにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
造園実習1	土壌の特性、肥料の配合、地ごしらえ、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽の工法について実習を通じて学びます。	株式会社 日動計画
CAD製図2	2次元CADを活用し、平面図、立面図など設計図面の基礎的な作成方法を学びます。	有限会社 水都環境

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、「企業等連携研修に関する規定」における目的に沿って、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を習得する。また、年度末に学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
森 健介	順天堂大学 非常勤講師(元白梅学園高等学校副校長)
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社グループマネージャー
細谷 幸男	八王子商工会議所事務局長
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社代表取締役
古木 勝紀	株式会社バンパー取締役
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック事務長
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会事務局長
一瀬 康剛	株式会社アトム精密代表取締役
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/>

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 土木・造園科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル1	社会人に必要な一般常識やマナーを学びます。また、ビジネス能力検定の対策もあわせて学びます。	1前	30	2	○			○		○		
○			構造力学1	土木で使用する数学の基礎、構造物が安全に造られるための構造計算の基礎を学びます。	1前	45	3	○			○		○		
○			測量学	測量の目的と各種測量内容を理解し、現場でどのように役立てるかを学びます。	1前	45	3	○			○			○	
○			土質工学	土の物理的性質、圧密、地盤の調査について学びます。	1前	45	3	○			○			○	
○			造園技術1	造園史、庭園の種類、造園器具、基礎工、植栽などについて学びます。	1前	45	3	○			○		○		
○			造園材料	造園で使用する材料、石材、木材、繊維材料、植物の種類と特性について学びます。	1前	45	3	○			○			○	
○			CAD製図1	コンピュータの基礎知識、図面を描く操作について学びます。	1前	60	2			○	○		○		
○			測量実習1	各種器具の取り扱い方法、距離測量、平板測量、水準測量、トラバース測量について実習を通じて学びます。	1前	60	2			○	○			○	
○			造園実習1	土壌の特性、肥料の配合、地ごしらえ、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽の工法について実習を通じて学びます。	1前	60	2			○	○			○	○
		○	建設機械1	土木施工、造園施工で使用する建設機械の免許を取得するための講習を実施します。	1前	30	1			○		○		○	
		○	3級造園技能士対策講座	3級造園技能士合格のための対策を行います。	1前	60	2			○	○			○	

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 土木・造園科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	宅地建物取引主任者講座	宅地建物取引主任者試験合格のための対策を行います。	1前	60	4	○			○			○	
○			ビジネススキル2	就職するための心構え、自分に合った就職先の選び方など、就職活動に必要な事柄を学びます。	1後	30	2	○			○		○		
○			構造力学2	構造物が安全に造られるための構造計算、RC構造、鋼構造について学びます。	1後	45	3	○			○		○		
○			水理学	水の性質、静水圧、水の運動、管水路について学びます。	1後	45	3	○			○			○	
○			土木計画	国土の利用計画、交通計画、治水、利水、都市計画など計画全般を学びます。	1後	45	3	○			○			○	
○			造園技術2	剪定、刈込、地被植物の管理、施工について学びます。	1後	45	3	○			○		○		
○			CAD製図2	2次元CADを活用し、平面図、立面図など設計図面の基礎的な作成方法を学びます。	1後	60	2			○	○			○	○
○			測量実習2	測量実習1で習得した技術をもとに、路線測量、工事測量について実習を通じて学びます。	1後	60	2			○	○			○	
○			造園設計	造園設計の基本的な考え方を習得し、条件に沿った設計について実習を通じて学びます。	1後	60	2			○	○			○	
○			造園実習2	剪定、刈込、地被植物の管理、施工の基礎について実習を通じて学びます。	1後	60	2			○	○			○	
		○	建設機械2	土木施工、造園施工で使用する建設機械の免許を取得するための講習を実施します。	1後	30	1			○		○		○	

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 土木・造園科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル3	就職するための心構え、自分に合った就職先の選び方など、就職活動に必要な事柄を学びます。	2前	30	2	○			○		○		
○			土木・造園施工管理技士資格対策	2級土木施工管理技士・2級造園施工管理技士の資格対策を行います。	2前	60	4	○			○		○		
○			土木施工管理技士資格対策	土工、コンクリート工、基礎工から施工管理全般を学ぶほか、2級土木施工管理技士の資格対策を行います。	2前	60	4	○			○			○	
○			造園技術3	造園の施工計画、施工方法などについて学びます。	2前	45	3	○			○		○		
○			造園施工管理技士資格対策	各種造園施設の施工法、施工管理を学ぶほか、2級造園施工管理技士の資格対策を行います。	2前	60	4	○			○		○		
○			CAD製図3	2次元CADを活用し、平面図、立面図など設計図面の応用的な作成方法を学びます。	2前	60	2			○	○			○	
○			材料実験	土木の代表的な材料のコンクリート、鋼について、物理的及び力学的実験を行い、その特性を学びます。	2前	30	1			○	○		○		
○			施工実習	丁張の設置など、土木構造物を施工するための工事測量について、実習を通じて学びます。	2前	30	1			○	○		○		
		○	造園実習3	植栽、石組み、垣根など造園施工全般について実習を通じて学びます。	2前	120	4			○	○			○	
		○	土木実習1	道路の計画から測量、製図など道路設計の一連の流れを学びます。	2前	120	4			○	○		○		
		○	2級造園技能士対策講座	2級造園技能士合格のための対策を行います。	2前	60	2			○	○			○	

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 土木・造園科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			造園技術4	害虫の駆除、高木の管理、公園の分類について学びます。	2後	45	3	○			○		○		
○			施工演習	2級土木施工管理技士・2級造園施工管理技士合格のための資格対策講座を実施します。	2後	30	2	○			○		○		
○			積算演習	土木工事、造園工事で使用する材料数の求め方、工事代金の項目、内訳などについて学びます。	2後	45	3	○			○		○		
○			環境学	地球を取り巻く環境の変化、負荷の軽減、廃棄物の処理などについて学びます。	2後	45	3	○			○		○		
○			建築概論	建築構造、計画、法規などについて学びます。	2後	45	3	○			○			○	
		○	造園実習4	剪定、刈込、地被類の管理、高木の管理について実習を通じて学びます。	2後	60	2			○	○			○	
		○	土木実習2	下水道管路を例に計画から測量、製図など、下水道設計の一連の流れを学びます。	2後	60	2			○	○		○		
○			卒業制作	2年間の集大成として構造物の設計、庭園の設計、模型制作、施工などを行います。	2後	150	5			○	○		○		
合計			41 科目			2220 単位時間 (107 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目1620時間（85単位）および選択科目240時間（8単位）以上取得、合わせて1860時間（93単位）以上取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	20 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。